

## 【小中連携・連携授業】 第2学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 「友情の尊さ」 〈内容項目 2－(3) 友情・信頼〉  
資料名 「ちいちゃんのつめ」 出典 「明日をひらく」

### 2 指導観

この資料は、学校のきまりを守らず、爪が長いことで不良扱いされていた千津子とそのクラスのみんなをめぐる話である。女子は運動会のメンバー決めで、誰もなりたがらない長距離走に千津子を推薦していっせいに賛成する。千津子は、はずかしそうに、半分悲しそうに受け入れる。

その様子を見ていた「わたし」は、運動会当日一着でもどってきた千津子に「おめでとう。」の声をかける。午後からの学級リレーで、千津子からバトンをもらう瞬間に「がんばってね。」と励まされ、懸命に走り一着になる。この出来事から、「わたし」は千津子が不良の仲間になれるはずがない、と分かり翌日親しみを込めてみんなの前で、「おはよう、ちいちゃん。」と声をかける。クラスのみんなは驚くが、やがて千津子のことを理解し、にこやかな笑いが出る。次の日、長かった千津子の爪は短く切ってあった。

この作品は、生活に密着した作文であり、生徒をそれぞれの立場に立たせることで様々な意見が出されることが期待できる。友だちとは何かを考えることを通して、ねらいにあげている相手のよさを認め、互いに助け合い、励まし合う真の友情を育てようとする心の育成が可能にするものと考えられる。

本学級の生徒は、正義感が強い生徒もいるが、自分本位の考えで行動する生徒も多い。また、一見仲がよいように見えるが、実はコミュニケーション能力が希薄で心から信頼できる関係にまでは至っていない友だち関係がある。しかし、友だちを大切にし、交友を深めていこうとする気持ちの表れも多く見受けられるだけに、本資料をとりあげ、友情の尊さについて学んでいくことは意義深い。

指導にあたっては、人を先入観や偏見で評価せず、公平に接し、友だちを受け入れ、認め、励まし合うことが友情を深めるうえで大切であることを理解させたい。特に、親しい友だち関係が成立するためには、自分がどれだけその友人の立場になれるかによって決まってくることに気付かせ、自分に目を向けさせることを大切にしたい。

そのためにまず、導入で自分にとって友だちとはどのようなものか、また小学校の時の友だちと今とでは友だち関係に違いはないかを、自分なりに考えさせることで本時の課題を意識化させる。次に展開では、登場人物それぞれの立場に立たせて気持ちを考え様々な意見を出していく中で、自分たちの身近な問題であることをとらえさせる。最後に、友情というのとはどのようなかわりなのかということを発問することにより、「信じ合う」「助け合う」や「認め合う」ということを入れて深めていけるよう学習をまとめていきたい。

### 3 小中連携の視点から

視点2の主として他人とのかかわりについての指導内容は、小中学校の全学年に渡るが、「友情の尊さ」は特に小学校高学年の視点2－(3) 友情・信頼との関連が深い。本資料は、小学校高学年の視点2－(3)の中での「互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う」を発展させたものである。

#### 4 本時

##### (1) 本時の指導観

本時の導入では、友だち関係とはどのようなことかを自分なりに考えさせることで本時の課題を意識化させる。次に展開では、登場人物それぞれの立場に立たせて気持ちを考え様々な意見を出していく。最後に、真の友情とはどのようなことかと言うことを発問することにより、「信じ合う」「助け合う」や「認め合う」ということを入れて深めていけるよう学習をまとめていきたい。

##### (2) ねらい

相手のよさを認め、互いに助け合い、励まし合う友情を育てようとする意欲を高める。

##### (3) 準備 ①資料「ちいちゃんのつめ」 ②ワークシート ③心のノート

##### (4) 過程

	学習活動・内容	教師の支援や留意点
導入	<p>1 教師からの問いかけについて考える。</p> <p>・「友だち関係とはどういうことか。」ということについて自分の考えを出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>真の友情とは、どういふかかわりのことかを考えよう。</p> </div>	<p>○本時の課題を意識化するために、「友だち関係とはどういうことか。」ということについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の時と中学校の時の友だちでは話の内容やつきあい方が変わった。</li> </ul> <p>○今までで友だち関係で悩んだことがあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも悩みがあることを知らせる。</li> </ul>
展開前段	<p>2 資料「ちいちゃんのつめ」を読んで、話し合う。</p> <p>(1) クラスの人たち 千津子を長距離走の選手に選んだのはなぜか。</p> <p>(2) 千津子 選手に選ばれた時の千津子の気持ちはどうだったと思うか。</p> <p>(3) わたし 千津子に「がんばってね。」と言ったのはなぜだろう。</p> <p>○千津子は、どうして長い爪を短く切って来たのだろうか。</p> <p>(4) 千津子としても、考えなければならなかったことはなかったのだろうか。</p>	<p>○クラスの人たちの千津子への気持ちを考えさせる。また、千津子の立場になって考えさせることで、差別や偏見について気づかせる。</p> <p>○自分がいやなことは、人もいなことなので無責任な行為といえる。</p> <p>○もし、自分が選ばれたらどうしただろうか。千津子の悲しい気持ちを理解させる。</p> <p>○わたしは、千津子のことをどう思っていたのだろうか。それがどう変わってこの言葉になったかを考えさせる。</p> <p>○友だちとしての在り方を考えさせる。</p> <p>○千津子の立場に立って考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしやみんなの気持ちが通じたからであろう。</li> </ul> <p>○千津子自身も反省する必要があることに気付かせる。いけないことと知りながら、なぜ切らなかったのか。千津子の気持ちを理解させる必要がある。</p>
展開後段	<p>3 真の友情とはどんなことであるかを明らかにする。</p>	<p>○資料に出てくるわたしの気持ちに共感させ、その悩みが解決した経験を想起させる。</p> <p>○一方的な情報から判断し、誤解してしまわず相手のよさを認め、互いに助け合い、励まし合うことが大切であることを理解させる。</p>
終末	<p>4 本時学習をまとめる。</p> <p>・心のノートを使い、本時の学習を振り返る。</p>	<p>○心のノートを開かせ、本時の学習と内容が関連していることを知らせ、子ども自身で心のノートを活用していく契機にさせる。</p>

## 道徳 「ちいちゃんのつめ」

2年〔 〕組〔 〕番 氏名〔 〕

### 〈登場人物それぞれの立場に立って気持ちを考えよう〉

(1) なぜクラスの人たちは、千津子を長距離走の選手に選んだのか気持ちを考えよう。  
また、選手に選ばれた時の千津子の気持ちはどうだったのだろうか。

クラスの人たちの千津子への気持ち	千津子の気持ち

(2) 運動会の長距離や学級対抗リレーを通して「わたし」は千津子に対してどのような気持ちを持つようになったのだろうか。また、千津子の「わたし」に対する気持ちはどうだったのだろうか。

「わたし」の千津子へ対する気持ち	「がんばってね。」 「おめでとう。」	千津子の「わたし」へ対する気持ち	「ありがとう。」 「がんばってね。」 「ううん、わたしのほうこそ…。」

### 〈千津子は、どうして長い爪を短く切って来たのだろうか〉

--

### 〈今日の学習から、あなたは真の友情とは、どんなことだと考えますか〉

--

### 〈今日の学習を振り返ってみよう〉

〔 わかった ・ だいたい ・ わからない 〕

- ・ クラスの人たちの気持ちがわかった
- ・ 千津子の気持ちがわかった
- ・ 「わたし」の気持ちがわかった
- ・ 爪を切った理由がわかった
- ・ 真の友情についてわかった

- 〔 A ・ B ・ C 〕
- 〔 A ・ B ・ C 〕
- 〔 A ・ B ・ C 〕
- 〔 A ・ B ・ C 〕
- 〔 A ・ B ・ C 〕